

令和5年度 事業計画

横浜清港会は、横浜港の海面清掃事業や会員事業所から排出される廃棄物の収集運搬事業及びギャベジ収集事業等を通じて、港の安全と環境美化の活動を行っています。

令和5年度も引き続きこれらの事業を推進し、横浜港の船舶航行の安全と港湾環境の美化保全及び公衆衛生の向上に努めて参ります。

「海上清掃事業」

1. 作業区域 横浜港港湾区域

2. 作業内容

- (1) 横浜市から横浜港内海面清掃業務を受託し、清掃船を合理的に運航することにより、効率的に作業を実施します。
- (2) みなとみらい21周辺地区から山下公園付近を美観重点水域に位置づけ、清掃作業を実施します。
- (3) 国土交通省関東地方整備局の清掃船「べいくりん」が回収した塵芥等の陸揚げ作業を実施します。
- (4) 港湾管理者等関係機関との協力体制を一層強化し、海面清掃に万全を期します。
- (5) 年間の処理量は、200W/Tを予定します。
- (6) 油流出事故発生時には、油回収機能を有する清掃船「青海丸・清浦丸・蒼海丸」の3隻で連携し事故に対応します。

「陸上清掃事業」

1. 作業区域

大黒ふ頭、出田町ふ頭、瑞穂ふ頭、山内ふ頭、新港ふ頭、大さん橋ふ頭、本牧ふ頭の構内

2. 作業内容

- (1) 各ふ頭構内の塵芥収集作業を計画的かつ適正に実施するとともに、会員店社と一体となって、港湾環境の保全に努めます。
- (2) 受託者とともに塵芥収集車両の適正運行に努め、塵芥収集処分作業の能率向上を図ります。
- (3) 排出された塵芥の処分は、仕分け作業等により再資源化と減量化を図って参ります。そのためにも、会員の協力のもと、ごみコンテナへの分別投入のより一層の徹底を図って参ります。
- (4) 年間の処理量は、800W/Tを予定します。

「ギャベジ収集事業」

1. ギャベジ処理作業は、作業委託会社と連携し、関係船社の理解と協力を得ながら効率的に収集作業を進めます。
2. 年間の収集量については、コロナ禍でストップしていた外航客船の寄港再開が見込まれることから、230W/Tを予定します。

「その他」

1. 啓発宣伝活動

清掃船に「みんなで港を美しく」と染めたのぼり旗を掲げるなど、関連団体とも連携し、横浜港の美化保全について啓発宣伝活動を行います。

2. ホームページの活用

ホームページを活用し、本会に係わる事業の情報公開を進めます。